

スクリーンセーバーは自動で起動せず手動で起動しましょう

パソコンの「画面のプロパティ」の中で「スクリーンセーバー」という機能があります。この機能は昔からあり、同じ画面を表示しているとモニターに、焼き付き状態が起こるのをこれを防止する意味で、自動起動して焼き付き防止していた機能です。でも現在では、焼き付きが起きるような状態で同じ画面で何時間も待機する事もなく、ほとんど必要としません。今でも残っているこの機能を自動で起動するように設定した場合、「他のソフトをインストールする場合」や、「デフラグ(ファイルの最適化)などを行っている場合」に勝手に自動で起動して割り込んでくるためエラーの原因になります。もし利用するのであれば、自動で起動するのではなく手動で起動し「スクリーンセーバー」の色々な画面を楽しみましょう。作業を中断してパソコンの前から離れる時や作業内容(ゲームソフトなど見られるて困る画面)を、隠す時にも、スクリーンセーバーを手動で起動して利用しましょう。

それでは、スクリーンセーバーを手動で起動する設定について説明します。

- 1.まずデスクトップの何も無い所をマウスの右ボタンをクリックし「プロパティ」を起動します。
- 2.「画面のプロパティ」の中の「スクリーンセーバー」のウィンドウを開きます。
- 3.その「スクリーンセーバー」の表示から適当な「スクリーンセーバー」のパターンを選び表示内容(表示の速さとか密度など)の設定を細かく行い[OK]を押します。
- 4.そしてその結果を「スクリーンセーバー」の[プレビュー]ボタンを押して確認します。
- 5.設定結果で良ければ、その「スクリーンセーバー」の表示パターンの名前を何か紙にメモってから[キャンセル]ボタンを押して元に戻して下さい。
- 6.画面左下の[スタート]ボタンを押してエクスプローラーを起動して下さい。
- 7.エクスプローラーの左にある「すべてのフォルダ」の中の[Windows]と言うフォルダをマウスの左ボタンをクリックし右画面の中から先ほどメモった「スクリーンセーバー」の表示パターンの名前を参考に探して下さい。
この時、エクスプローラーのメニューバーの「表示」を詳細表示にして探すと「ファイルの種類」の所で「スクリーンセーバー」として表示され、探しやすいです。
- 8.もし見つからない時は「すべてのフォルダ」ので[Windows]の中の[System]内を探して下さい。
- 9.目的のファイルが見付ければ、そのファイルをマウスで選び、右ボタンのメニューの中の「ショートカット作成」を実行して下さい。
- 10.すると先ほど選んだファイルの下かその下付近に作成した「ショートカットファイル」がいますから、それを選んでマウスの右ボタンメニューの「切り取り」を実行して下さい。
- 11.そして最後に、デスクトップの何も無いところでマウスの右ボタンメニューで「貼り付け」を選び実行すればデスクトップに「スクリーンセーバー」起動のショートカットアイコンが出来作業完了です。

以上の作業で作成したアイコンをマウスでクリックすると手動で「スクリーンセーバー」が起動出来ます。